

## 指定管理者候補の選定結果について

下記のとおり、指定管理者の「候補」が選定されました。指定管理者の指定については、地方自治法第244条の2第6項の規定により議会の議決を経る必要があり、令和6年12月議会の議決を経た後に正式に指定することとなります。

### 1 指定概要

#### (1)施設概要

名 称：北九州市立介護実習・普及センター

所在地：北九州市小倉北区馬借一丁目7番1号  
(北九州総合保健福祉センター1階)

#### 施設内容

①施設概要：[構造]鉄筋コンクリート造地上8階、地下1階建の1階部分  
[規模]延床面積約720㎡  
(但し、喫茶コーナー45.6㎡は管理運営から除く)

②事業内容：介護に関する知識及び技術並びに介護機器の普及を図ることにより、市民の高齢者福祉に対する理解及び参加の促進に資する。

#### (2)指定期間

令和7年4月1日～令和12年3月31日

#### (3)指定管理者候補の概要

名 称：麻生教育サービス株式会社 北九州支店

所在地：北九州市小倉北区堺町二丁目1番1号

主な業務内容：人材育成、教育研修事業、業務改善コンサルティング事業、  
BPO事業（官公庁・民間）、人材紹介・派遣事業、  
各種調査事業（CS・ES・360度サーベイ等）、  
こども育成事業、  
施設運営受託（中小企業大学校、福岡市少年自然の家）、  
その他に市の受託事業として、介護ロボット等導入支援・普及促進センター運営、個別避難計画作成促進事業運営、北九州市処遇改善加算計画受付業務、放課後アソビバモデル事業運営業務、放課後エデュテイメント事業運営業務実施

## 2 指定の経緯

令和6年8月15日	募集要項配布
令和6年9月30日	募集締め切り
令和6年10月7日	指定管理者検討会の開催
令和6年10月	指定管理者候補を決定

### (1) 応募資格

- ① 法人、その他の団体であること。
- ② 本社、本店又は主たる営業所、事務所等を、事故など緊急な対処を要する事態が発生した場合に迅速に対応できる場所に有するもの。
- ③ 申請意向届出書を提出していること。
- ④ 共同事業体を構成する場合は、競争性を確保した上で、本市経済の振興と地元団体の育成を図る観点から、可能な限り地元団体を構成員とするよう努め、最低1団体は地元団体とすること。

### (2) 応募状況

説明会参加：2団体

応募件数：2団体

- ・公益社団法人福岡県作業療法協会
- ・麻生教育サービス株式会社 北九州支店

## 3 選定方法

指定管理者の選定に当たっては、学識経験者や専門家等による指定管理者検討会を開催し、応募者から提出された事業計画書等について検討しました。市は、検討会の検討結果を参考に指定管理者候補を決定しました。

## 4 検討会構成員

- ・[学識経験者] 佐伯 覚（産業医科大学医学部リハビリテーション医学講座 教授）
- ・[学識経験者] 中島 浩二（西日本工業大学デザイン研究所 所長）
- ・[実務経験者] 神崎 良子（九州栄養福祉大学 リハビリテーション学部  
理学療法学科 准教授）
- ・[公益事業団体] 和田 恵子（公益社団法人 北九州高齢者福祉事業協会 副会長）
- ・[公認会計士] 門田 哲（門田哲公認会計士・税理士事務所 代表）

## 5 選定基準等

選定基準（＝審査項目）及びポイント	
1	指定管理者としての適性
	(1) 施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針
	① 応募団体が、市の当該分野における基本的な政策や計画、あるいは施設の設置目的や性格等を十分に理解した上で、それらに適合した管理運営（指定管理業務）に対する理念や基本方針を持っているか。
	(2) 安定的な人的基盤や財政基盤
	① 長期間安定的な管理運営（指定管理業務）を行っていただくだけの人的基盤（専門職等）や財政基盤等を有しており、又は確保できる見込みがあるか。
	(3) 実績や経験など
	① 応募団体が同様、類似の業務の実績を有しており、成果を上げているか。
	② 応募団体が施設の管理運営（指定管理業務）に関する専門的知識や資格、経験を十分に有しており、技術研鑽等の熱意や意欲を持っているか。
	③ 複数の団体が共同して一つの応募団体となっている場合、それぞれの責任分担等が明確になっているか。
2	管理運営事業計画の適確性
	【有効性】
	(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み
	① 施設の管理運営（指定管理業務）に係る事業計画の内容が、施設の効用を最大限に発揮し、施設の設置目的に沿った成果が得られるものであるか。
	② 施設の利用者の増加や利便性を高めるための実施可能な提案があるか。
	③ 市民や医療・介護従事者の福祉用具や介護に関する知識・技術の向上を図る為の効果的な提案があるか。
	④ 施設の設置目的に応じた営業・広報活動に関する効果的な提案があるか。
	(2) 利用者の満足向上
	① 利用者の満足が得られるよう十分に考えられているか。
	② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる仕組みを構築しているか。
	③ 利用者からの苦情に対する対策が十分に考えられているか。
	④ 利用者への情報提供が図られるよう十分に考えられているか。
	⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な提案がなされているか。
	【効率性】
	(3) 指定管理業務に係る費用及び収支計画の妥当性
	① 指定管理業務に係る費用が妥当なものであるか。
	② 経費を低減するための実施可能な提案があるか（市の仕様書の変更による効率化を含む）。
	③ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支計画の内容が合理的かつ妥当なものであるか。
	【適正性】
	(5) 管理運営体制など
	① 施設の管理責任者、管理体制が明確に示されているか。
	② 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であるか。
	③ 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員が必要な資格、経験などを有しているか。
	④ 職員の資質・能力向上を図るよう考えられているか。

⑤ 地域の住民や関係団体等との連携や協働による事業展開が図られるものであるか。
(6) 平等利用、安全対策、危機管理体制など
① 施設の利用者の個人情報を守るための対策が十分に考えられているか。
② 利用者が平等に利用できるよう配慮されているか。
③ 日常の事故防止などの安全対策や事故発生時の対応などが十分に考えられているか。
④ 防犯、防災対策や非常災害時の危機管理体制などが十分に考えられているか。
(7) 社会貢献・地域貢献
<社会貢献の視点>
①高齢者や障害者等への雇用促進が考えられているか。
②労働環境の向上への取り組みが考えられているか。
③SDGsの達成や環境への配慮に関する取り組みが考えられているか。
<地域貢献の視点>
①地域活動や地域交流などの取り組みが考えられているか。
②地域団体や市内事業者などと連携した取り組みが考えられているか。
③市民の雇用拡大に資する配慮が考えられているか。

【評価レベル】

評価 レベル	乗 率	評価レベルの考え方
5	100%	特に優れている（市の要求水準を大幅に上回っている、高度な能力を有している）
4	80%	優れている（市の要求水準を上回っている、十分な能力を有している）
3	60%	普通（市の要求水準を満たしている、一応の能力を有している）
2	40%	多少不十分である（市の要求水準を下回っている、多少能力が乏しい）
1	20%	不十分である（市の要求水準を大幅に下回っている、能力が乏しい）
0	0%	劣っている（能力がほとんどなく、任せることに不安がある）



## (2)検討会における主な意見

### ①公益社団法人 福岡県作業療法協会について

- ・本市の住宅改修事業や介護予防事業などへの参入実績があるため期待できる。
- ・専門職種の職能団体であり、理念そのものや熱意は大変素晴らしく、会員のネットワークを活用した子育て世代の雇用等の方向性は多様化を重視しており評価できる。
- ・介護ロボット事業の実務経験がない点に不安がある。
- ・常勤が少なく、パートやネットワークを活用した人員配置に対し、財政基盤が小さく人員のフォローについて不安がある。
- ・取り組みへの思いは伝わったが、実行するうえでの具体的な記載が少なく、受託後の具体的な活動がイメージできなかった。

### ②麻生教育サービス株式会社北九州支店について

- ・地域連携や産学官連携について、非常に具体的な提案があること、麻生グループの強みを生かしたスタッフ教育、介護ロボット事業の実績がある。一方で講座等の中身についてもう少し具体的な提案が欲しかった。
- ・介護ロボット事業を受託しており、ノウハウがある点や計画が現実的である。
- ・DX化を図り人的配置を効率的に実施する具体的な取り組みが明確にあり、連絡の風通しがいい組織だと感じた。
- ・財政基盤が安定しており、人件費の工夫がうまく事業に計上されていた。
- ・提案内容が本当に実行可能なのか不安はあるが、提案や質疑応答の内容が具体的であり、多くの事業を請け負っている実績から可能だと判断した。
- ・理念や運営、マニュアル等の整備もなされている点が良かった。

## (3)検討会における検討結果

- ・公益社団法人福岡県作業療法協会は、公益性の高い社会貢献の実績があり、非常に高い理念や熱意は大変素晴らしかった。会員数が多く、そのネットワークを最大限に利用したプランが考えられていた点はとても評価できる。一方で、実効性については曖昧な部分が多く、受託後の具体的な活動がイメージできない部分が多かった。人員についてもネットワークの活用が前提であり会員がどれだけ応えてくれるか現実性が曖昧であり、小規模な財政基盤で補えるのか不安が残った。
- ・麻生教育サービス株式会社北九州支店は、非常に現実的な計画やマニュアルが整備されており活動内容が具体的であった。介護ロボットに関する実績があるだけでなく、DX化等を企業として考え実施している点は高く評価した。人員配置に関しても、想定される状況を含め計画されていたこと、本部のフォロー体制が明確であったことで運営に対する安心感がある。一方で、民間企業であるため利益重視とならないかといった点や、事業計画を必ず実行できるのかという懸念もある。そのため、以下の付帯意見を付したうえで、数値目標等も含め具体的な提案があり、各構成員の評価・検討会の評価・合計得点の高くなっている、麻生教育サービス株式会社北九州支店が指定管理者として相応しいと判断する。市は、検討会における議論を参考に、最終決定を行われたい。

#### <付帯意見>

- ・本市の高齢化等の課題に対して介護予防に関わる視点を重視するとともに、社会を先取りする視点を持って各事業を遂行していただきたい。
- ・多様性を重視して事業を進めていただきたい。

## 7 選定結果

市は、検討会の検討結果を参考に、麻生教育サービス株式会社北九州支店を指定管理者候補に選定しました。

### (1)選定された団体の主な提案内容

別紙「提案概要」のとおり

### (2)市における主な選定理由

- ・経験豊富なスタッフを有し、人材確保から人材育成までの具体性が明確であるなど人的基盤があるとともに財政基盤も安定している。
- ・施設の設置目的等について十分理解しており、施設の管理運営に関して強い意欲が感じられ、実績等を踏まえた、実現可能性の高い具体的な提案がなされている。
- ・介護ロボット等導入支援・普及促進センター運営を受託しており、一定の成果を上げているため、介護テクノロジーに関する相談対応のノウハウやネットワークに期待できる。

## 8 提案額

66,508千円